

八代支部の SNS を活用した新たな取り組み！

～トマト・ミニトマトに関する情報の発信～

八代地域における令和7年産のトマト・ミニトマトの出荷が10月上旬から始まりました。

八代地域のトマトとミニトマトを合わせた栽培面積は県内最大であるため、トマト黄化葉巻病ウイルスを媒介するタバココナジラミの発生推移は生産者も注視しているところです。また、令和7年度は、侵入警戒対象の害虫であるトマトキバガも熊本県内全域で発生が見られていることから、これらの情報を早急にトマト・ミニトマト生産者に周知する必要があります。このため、『一般社団法人野菜振興協会八代支部（トマト）』では SNS アカウントを作成し、令和7年9月から本格運用を開始しました。

生産者へ、トマト・ミニトマト現地検討会等で SNS アカウントの周知を行い、10月末時点で65名の登録があり、八代支部で調査している野外コナジラミ類の発生推移や、熊本県病害虫防除所が公開しているトマトキバガの発生状況等を定期的に配信しています。

今後も、八代地域の栽培に活用できる情報の発信を行っていきます。



定期的にトマトに関する情報を発信中